

ことのは



足立 茂蔵

西淀川危険物
防火協議会会長
阪神石油運送株式会社
代表取締役

危険物災害ゼロを目指して

西淀川区は、日本列島が形づくられた太古の時代にはまだ海の底で、長年にわたり淀川が運ぶ土砂が堆積して土地が形成され、古代には難波八十島とも呼ばれた幾つもの島となりました。現在の西淀川区の地名に島の名が多いのはその名残と言えます。

しかし、水辺に拓かれた西淀川区は、古来幾度となく水禍に見舞われたこともあり、今日、他にも見られない強固な水防組織が設けられております。

海上の守護神である住吉大社を勧請しているのも、住民の水に対する不断の心掛けを示すものと言えます。

区としての誕生は1925年4月1日のことです。昭和初期にかけ、インフラの発達・整備に伴い近代工業が集中し、一大工



大野川緑陰道路

業地帯を形成しました。現在では、都心部へのアクセス条件から住宅地としても注目されています。西淀川危険物防火協議会は、石油部会・塗料部会・給油所部会・貨物部会の4部会、全128会員で構成されています。弊社は昭和50年より加入し、平成20年3月からは会長を務めさせて頂いております。

当協議会は、危険物関係事業所相互間の連絡協調を図るとともに、危険物関係法令を研究し、危険物施設の自主保安体制の確立を目指しており、火災予防運動や危険物安全週間における事業への参加や協賛、施設見学会や防災講演会の開催等を行っております。さらに各地で発生した危険物施設における事故事例について、関係会員に情報提供を行う他、各種研修会にも積極的に参加し、危険物災害を未然に防止するための知識及び技術の向上を図っております。

今後はより一層、消防署との連携を密にし、危険物災害ゼロを目指して力強い支援をしまいにいと考えております。